

## 入間基地資料館見学及び CH-47 体験搭乗

神奈川地本カレッジ防衛モニター 植田 尚

飛行時間は約20分程度で乗っているときは短く感じたが、降りた後に私自身が飛行機酔いの状態になっていたのだから、程度でちょうどよかったのだと思った。



筆者は左端

カレッジ防衛モニターの第4回イベントとして航空自衛隊の入間基地の見学とCH-47チヌークの搭乗を体験した。参加者は私たちカレッジ防衛モニター3名を含めて50名程。早朝に神奈川地方協力本部に集まり、車で入間基地に向かった。当日は午前中に入間基地の資料館の見学、午後にはチヌークの体験搭乗という流れだった。

資料館では、まず飛行機の歴史DVDを15分ほど鑑賞した後、自由見学。館内は見学ルートがあり、それに沿っていくと過去から現代の各時代遷移、歴史資料が実物や映像と共に展示されていた。展示物は、質・量ともに見応え十分。ルートの最後はブルーインパルスの特設コーナーが設置されており、映像で迫力あるブルーインパルスのアクロバット飛行などを見ることができた。少々残念だった点は、館内が撮影禁止だった点と、館内に休憩できる椅子などが少なかつた点。2点目は先輩の方なども見学におられていたので、もう少しと落ち着いて見る工夫がされているといいのではないかと感じた。

午後は場所を少し移動しチヌークの体験搭乗。搭乗時の注意を受けた後、2つの班に分かれてチヌークに乗り込んだ。チヌークが小型の自動車を積込み可能な大型ヘリコプターという事は知っていたが、外から見た大きさでは近くにいたT-4飛行機より大きく、胴体だけ見ればC-1よりひと回り小さい程度で電車の車両ひとつ分、それよりちょっと狭いという印象であった。乗り込む前にエンジン音が大きく、言葉が聞こえにくいかもしれないという注意を受けたが、実際は近づく段階からプロペラとエンジンの轟音と突風で、耳を覆い、機内は「搭乗中は聞こえにくい」という話だったが、そんなレベルではなく、互いの声はほぼ聞こえなかった。だから、機内で人とコミュニケーションを取る時、ジェスチャーを多用していた。搭乗中は、機体が安定している間、自由に動き廻ることができ、自衛官と一緒に記念撮影をしていただいたり、そばにあったヘルメットを被らせてくれたりと非常に親切。

## 入間基地における CH-47J 体験搭乗

神奈川地本カレッジ防衛モニター 片岡 初実



筆者は中央

カレッジ防衛モニターとして2度目の体験搭乗をした。今回は、航空自衛隊入間基地にてCH-47Jに乗った。私は、イベント参加で陸上自衛隊と海上自衛隊の基地に入ったことはあったが、航空自衛隊の基地に足を踏み入れるのは初めてだった。

入間基地ではまず修武台記念館を見学した。修武台記念館は平成24年3月に開館した資料館で、航空の発展についてまとめられていた。自ら学ぶことを目標としているためガイドなどは一切なかったが、記念館内の資料は豊富で、自ら学ぼうという気持ちを起させるものだった。2階建てで保管庫には実機も展示されていた。当日の見学時間は1時間よりも少なかった。どのようでも急ぎ気味になってしまい、じっくり見学することはできなかった。見学の所要時間は2時間程度と言われたので当日の見学時間では足りなかったが、また遠くても行きたいと思った。

CH-47Jはモニター以外の方々と同乗した。以前体験搭乗をした海上自衛隊の固定翼P-13Cと比べ機内が広く、多くの人と乗ることができた。その空間は重たいものや大きなものを運搬するための機体であると思像でできた。振動は、P-13Cよりも大きい。機体が安定してからは機内を自由に見学できたのだが、窓が開いていたため風が強く吹き込み、私は歩くことが儘ならなかった。機内に入り出す際の後方部出入口が斜めのスロープのようなものだったことも、P-13Cのような、はしごを想像していただけに驚きであった。

航空自衛隊の基地に行くことも、CH-47Jに乗ることも初めてであったこの日は、私にとっては、とてもよい日になった。これを機に航空自衛隊についてももっと知りたいと思った。

## 入間基地の見学

神奈川地本カレッジ防衛モニター 関 宏康



筆者は右上

今回は入間基地での修武台記念館の見学とCH-47の体験搭乗に参加した。

修武台記念館では日本の航空機が導入された経緯と現代の航空機にまで発達する経緯についての映像の他、第二次大戦中の資料を見学することができた。中でも実物の一式戦闘機のプロペラやエンジン、空の軍神などと言われた加藤健夫少将が使用していた帽子などは、最近になって「加藤軍戦闘隊」を観た私にとって、時宜を得た品々であった。その他にも零戦の栄エンジンや搭載機銃、桜花など他ではみることが出来ない戦中の航空機に関する資料が展示されていた。また、屋外にはT-33、T-34、モニター、C-146、F-186、F-セイバー、F-104Jが展示されており、中でも個人的に大好きなスターファイターを間近で見ることができたのはとても嬉しかった。

体験搭乗の日は、午前中曇りで時より雨が降っており、フライトが実施されるか心配したが、どうにか持ちこたえてくれた。体験搭乗は約20分ほどであった。中のスペースはとても広くかなり簡素な椅子が取り付けられており、いかにも輸送ヘリであるという印象を持った。あの巨体でも飛び上がる時はふわりととても軽やかに上がり、面白い感覚であった。生憎の天候であったが、上空から見ると街の景色はとても新鮮で心地良いものであった。